

始まる菰野富士の整備

諸岡 「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第二世代交付金）」で、「菰野富士ふるさとの山整備事業」を採択いただきました。国道477号バイパスや湯の山かもしか大橋の開通で、菰野富士の横を通る方が増えてきています。

井上 そうなんですね。

諸岡 湯の山温泉は昭和25年の愛知国体をきっかけに注目されるようになり、昭和34年に御在所ロープウェイが開通すると、年間100万人を超える観光客が訪れる観光地となりました。しかし、近年は旅行形態の変化などにより旅館の軒数も宿泊、



者数も減ってきています。そこで、湯の山温泉や御在所岳などの観光資源の玄関口となる菰野富士周辺を整備して、町全体の活性化を図りたいと考えています。菰野富士は標高369㍎の約30分ほどで登れる山ですが、山頂からは伊勢平野や伊勢湾などが一望できて、とても景色が良いですよ。今回採択された交付金を使って、展望台と、そこまで行くための散策路を整備する予定です。車椅子の方でも展望台からの景色を楽しんでいただけるように整備を進めていきます。

井上 私も大羽根園駅の近くに住んでいたのですが、菰野富士や御在所岳などを毎日見て生活していました。なので、上京してからも年末年始などに実家に戻ったときに山を見ると、「帰ってきたな」と感慨深い気持ちになるんですよ。本当に思い出深い、人生の原点のような場所です。

諸岡 さらに、菰野富士や御在所岳、その麓にある湯の山温泉の周辺には健康増進効果があるとされるラドンが空気中に含まれているといわれています。そのため、観光と一緒に健康も作りながら、という一つのイメージを持って町を活性化できないかなと検討しているところです。

井上 散策路をウォーキングして、展望台から景色を見て、帰りに、

湯の山温泉に浸かるというような、一連の流れを作れるといいですね。せっかく整備するのでしたら、健康づくりと観光を両立できるような場所としてPRしてみたいかがでしょうか。今は低山登山も流行っていることですし、お年寄りや車椅子の方でも登山ができて、一日の締めくくりには温泉に浸かって癒される、みたいな。

諸岡 確かに、誰でもアウトドアを楽しめる場所にすることができれば、それは菰野富士の大きな強みになると思います。

井上 お年寄りが楽しめるのはとてもいいと思いますよ。せっかく新名神高速道路菰野ICも開通したことですから、菰野富士も「こんなふうに使ってみよう」「こんなことしてみよう」っていういろんな人にかけてもらうと地方創生に繋がると思います。また、整備する上でトイレの設置は重要だと考えています。内閣府では女性活躍の推進に取り組んでいて、国でも女性用トイレの行列の対策を検討しています。女性用トイレが清潔でたくさんあるということは誘客やリピーターの獲得という点でも大きなポイントとなると思います。ぜひその点は力を入れて整備していただけたら嬉しいですね。

菰野町へのメッセージ

諸岡 では最後に、菰野町の皆さんへメッセージをいただけますか。

井上 本場に菰野町がいいところですよ。あれだけ自然豊かで、ICもできて、電車も走っていて。御在所岳では三重県で唯一スキーもできて。私が小学生の時はスキー教室とかもありましたよね。

諸岡 岩も珍しいのがあったりしてね。

井上 恵まれたとても良い町だと、離れたからこそとても強く感じます。町民の皆さんの中には、菰野町で生まれて、それからずっと菰野町に住んでいるという方も多いと思います。だからこそ、特に若い方たちに、一度、菰野町から外に出てみてもらいたいですね。もちろんずっと菰野町に住むのもいいんだけど、ちょっと町を離れて東京や大阪などに出てみたり、あるいは外国に行ってみたりとか。少しでもいいんですけれど、そうすると帰ってきたときに菰野町の良さがより一層分かるんじゃないかなと思います。近鉄に乗って菰野町に帰る時、富田駅あたりから鈴鹿山脈が見えてきます。ここが鎌ヶ岳、ここが藤原岳みたいな。そうすると戻ってきたって、心が和むような、また頑張ろうみたいな気持ちになります。



奇岩の一つ、御在所岳の「地藏岩」▶

菰野町はとても恵まれた町 離れてからより一層 町の良さが分かった

井上 あはは（笑）でも、今はテレワークを導入している企業も増えてきているので、一年の半分は菰野、半分は東京という働き方もできますよね。特に若い方たちには、地元をベースにしながらも外に出て、積極的にいろんな活動をしてみて、視野を広げて、そしてそれをまた菰野町の発展に生かしてもらいたいですね。

誰もが自然を楽しめる
新たな観光地に

